



Kagoshima Bank

# News Release

2026年3月31日

## 県内景況

株式会社 鹿児島銀行

株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、畜産関連、観光関連が持ち直し、消費関連は一部で持ち直している。一方で、生産活動、投資関連は弱含み、雇用関連は弱い動きとなっている。全体として改善傾向は見られるが、今後の賃上げや原油価格上昇などによる物価の動きに注意する必要がある。

生産活動は、12月の鉱工業生産指数が2か月ぶりに前年を上回った。食料品は前年をやや上回り、電子部品・デバイス、窯業・土石製品、汎用・生産用機械は前年を上回った。

畜産関連では、2月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A5はほぼ前年並みで、去勢A4は前年を上回った。豚肉は前年を下回り、ブロイラーもも肉、むね肉は前年を上回った。鶏卵相場は前年をやや下回った。

個人消費関連は、2月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出数は前年を下回り、1月のコンビニエンスストア販売額はほぼ前年並みとなった。一方で、1月の百貨店・スーパー販売額、家電大型専門店販売額、ドラッグストア販売額は前年を上回った。

観光関連では、2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、3か月連続で前年を上回った。種子島・屋久島地区は2か月ぶりに前年を上回り、奄美地区は5か月連続で前年を下回った。主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額は前年を上回った一方、新設住宅着工戸数は前年を下回った。

雇用情勢は、1月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.05倍となった。

## 【生産活動】... 弱含み

12月の電子部品・デバイスの鉱工業生産指数は前年を上回った。ただし一部では、EV向けや5G関連の需要が回復していない。一方、スマホ向けなどでは底打ちの動きがみられるが、価格競争の激化や買い替えサイクルの長期化などにより、回復の時期が見通しづらい状況である。

1月の焼酎生産は、13か月連続で前年を下回った。県外への出荷が前年を大幅に上回り、出荷量は14か月ぶりに前年を上回った。

12月のかつお節生産は、3か月連続で前年を下回った。

2月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが8か月連続で前年を下回り、民間工事向けは2か月連続で前年を上回り、全体では25か月連続で前年を下回った。

2月の紙パルプ生産は、2か月ぶりに前年を下回った。

木材関係は、スギの製品相場が前年を上回った。

## 【畜産関連】... 持ち直し

2月の子牛の出荷頭数は前年を下回ったが、出荷頭数の減少の影響により価格は前年を上回った。2月の肉用牛（和牛）の枝肉価格（東京食肉市場）は去勢A5がほぼ前年並みで、去勢A4が2か月ぶりに前年を上回った。1月の枝肉生産量は前年を上回った。

2月の豚肉相場（東京食肉市場・上）は2.9%減と3か月連続で前年を下回った。1月の枝肉生産量は前年を下回った。

2月のブロイラー相場（東京地区）は、もも肉は9.3%増と17か月連続で前年を上回り、むね肉は28.9%増と17か月連続で前年を上回った。2月の処理羽数は前年を上回った。

2月の鶏卵相場（JA全農・東京M）は、生産量の回復や高値による買い控え等の影響により0.6%減と16か月ぶりに前年を下回った。1月の配合飼料価格は前年を上回った。

## 【消費関連】... 一部で持ち直し

1月の百貨店・スーパー販売額は、衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品は前年を上回り、全体では2か月ぶりに前年を上回った。

1月の専門量販店販売額は、ドラッグストア、家電大型専門店が前年を上回り、

コンビニエンスストアはほぼ前年並みとなった。

2月の乗用車新車登録台数は、8か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は8.0%減、小型車が16.1%減となった。2月の軽自動車届出台数は2か月ぶりに前年を下回った。

### 【観光関連】... 持ち直し

2月の主要ホテル・旅館宿泊客数（鹿児島・霧島・指宿地区）は、3か月連続で前年を上回った。県の宿泊支援や海外のゴルフ需要を背景に、韓国からの入り込みや個人客が増加した。

鹿児島地区は、関東、韓国からの入り込みや個人客が増加し、3か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、韓国からの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、3か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、韓国からの入り込みや個人客、団体客ともに増加し、2か月ぶりに前年を上回った。

種子島・屋久島地区は2か月ぶりに前年を上回り、奄美地区は5か月連続で前年を下回った。

2月の主要観光施設入場者数は、多くの調査対象施設で前年を上回った。

### 【投資関連】... 弱含み

2月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を上回った。

1月の民間建築工事着工は、棟数、床面積は前年を下回り、工事費予定額は前年を上回った。

1月の新設住宅着工戸数は、前年を大幅に下回り、28.9%減となった。分譲が前年を大幅に上回ったものの、持家、貸家が前年を大幅に下回った。3か月移動平均は前年を下回り、7.5%減となった。

2月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、4か月ぶりに前年を上回った。

### 【貿易関連】... 輸出額は前年を上回り、輸入額は前年を下回った

1月の輸出額は、食料品及び動物が前年を下回ったものの、パルプ及び古紙、ゴムタイヤ及びチューブ、木材が前年を上回り、全体では662.2%増と6か月連続で前年を上

回った。輸入額は、穀物及び同調製品がほぼ前年並みだったものの、原油及び粗油が前年を下回り、全体で44.2%減と2か月連続で前年を下回った。

#### 【雇用情勢】... 弱い動き

1月の有効求人倍率は前月を0.01ポイント上回る1.05倍となった。県内求人数を業種別にみると、製造業は前年を上回り、建設業、卸小売、医療・福祉は前年を下回った。

#### 【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

1月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.3%上回った。

#### 【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が11件で前年同月（6件）を3か月ぶりに上回った。また、負債総額は7億36百万円で前年同月（17億39百万円）を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (TEL 099-225-7491)